

市民公開講座 薬剤耐性(AMR)対策推進月間・World AMR Awareness Week特別企画

企画・制作 読売新聞社ビジネス局 **広告**

サイレントパンデミック・ 薬剤耐性菌の脅威



～抗菌薬・抗生物質が効かなくなる前に私たちができること～

抗菌薬が風邪に効くという間違った知識や、余った薬を他人に渡してしまうなどの不適切な使い方が原因で、抗菌薬が効かなくなる薬剤耐性菌が増えています。対策を講じなければ、この耐性菌による感染症によって、2050年までに世界で1,000万人の死者※が出ると想定され、ひそかに感染が広がるサイレントパンデミックとして世界中で対策が急がれています。読売新聞社では、薬剤耐性(AMR)対策推進月間にあわせて2023年11月23日、東京国際フォーラムにて市民公開講座を開催。その危険性と対策を知り、私たち一人ひとりができることを一緒に考えるきっかけになるよう、専門家から話を聞きました。

※. Antimicrobial Resistance: Tackling a crisis for health and wealth of nations, the O'Neill Commission, UK, December 2014

講演

1 サイレントパンデミック・ 薬剤耐性菌の脅威とは

大曲 貴夫氏 国立国際医療研究センター病院 副院長(感染・危機管理担当)
国際感染症センター長

サイレントパンデミック・薬剤耐性菌の問題がどれくらい深刻なのか、想像がつかない人が多いかもしれません。そこで、抗菌薬が効かなくなる薬剤耐性菌による感染症の治療がいかに難しいか、事例をご紹介します。

海外の工事現場で働いていた60代の男性が、事故で両足を骨折し、現地で手術して日本に帰国しました。ところが、手術をした足に感染が起きていることがわかり、その治療をしたのですが、抗菌薬が効かないのです。検査した結果、我々が使う抗菌薬のほぼ全てが効かない薬剤耐性菌による感染症だということがわかり、男性は命の危険にさらされました。結局、感染している足を切断して、何とか命が助かりました。

こうしたケースは世界中で数多く発生しており、年間500万人近くがこのAMRによる感染症で命を落としています。私たちは、さまざまな病気にかかりますが、あらゆる病気の治療に抗菌薬は欠かせません。例え



佐賀医科大学卒業。聖路加国際病院内科レジデント。2002年テキサス大学ヒューストン校内科感染症科臨床フェロー。04年静岡県立静岡がんセンター感染症科医長、07年同部長。11年国立国際医療研究センター病院国際感染症センター副センター長、12年国際感染症センター長、17年AMR臨床リファレンスセンター長(兼任)、23年11月 国立国際医療研究センター病院副院長(感染・危機管理担当)。

まいます。糖尿病や人工透析など持病があって治療をしている場合、常に感染のリスクは高い状態ですが、もし薬剤耐性菌による感染症にかかれば、本来の病気ではな

講演

2 薬剤耐性(AMR)対策について

鷺見 学氏 内閣官房 内閣感染症危機管理統括庁 内閣審議官

2023年9月1日、内閣官房の中に内閣感染症危機管理統括庁が設置され、25年には国立健康危機管理研究機構という新しい組織ができます。厚生労働省、農林水産省、環境省などAMRに関係する組織が力を合わせ、政府全体でAMR対策に取り組んでいく所存です。統括庁では、①抗生物質の適正使用②感染予防・管理③新たな抗生物質の研究開発・創薬④動向調査・監視⑤普及啓発・教育⑥国際協力の6つが

らなるアクションプランを策定しています。また、AMRについてのわかりやすい解説もホームページに掲載していますので、ぜひQ&Aを含めてご覧いただきたいと思っています。

サイレントパンデミックは、今後静かに近寄ってきて、気づいたときには取り返しのつかないことになっている可能性があるということを知っていただけたらと思います。



名古屋大学医学部卒業。1997年厚生労働省(現・厚生労働省)入省。ハーバード大学公衆衛生大学院にて公衆衛生学修士(MPH)取得。名古屋大学大学院にて医学博士取得。外務省国際協力局国際保健政策室長や厚生労働省健康局健康課長、厚生労働省医政局地域医療計画課長など数々の要職をへて、2023年7月より現職。

講演

3 厚生労働省のAMR対策について

荒木 裕人氏 厚生労働省 健康・生活衛生局 感染症対策部 感染症対策課 課長

医療現場における抗菌薬適正使用に向けては、具体的に「診療現場で医師が抗菌薬を処方する際の、適正使用の手引きの作成」「母子健康手帳にAMR対策についての記載を追加する」「抗菌薬の添付文書にも適正使用を促す注意事

戦う武器となる抗菌薬がなくなってしまうと、いざというときに治療ができません。薬剤耐性による死亡者数は今後増大するとされていますが、耐性菌に対する新たに承認された抗菌薬の数は近年減少傾向にあります。企業が国のAMR対



のには至てか効がない薬剤耐性菌による

感染症だということばかり、男性は命の

危険にさらされました。結局、感染している

足を切断して、何とか命が助かりました。

こうしたケースは世界中で数多く発生し

ており、年間500万人近くがこのAMRによ

る感染症で命を落としています。私たちは、

さまざまな病気にかかりますが、あらゆる

病気の治療に抗菌薬は欠かせません。例え

ば、がんで手術をするという時に、薬剤耐性

菌による感染症があった場合、そのまま手

術すると重症感染症にかかって危険なた

め、手術自体を行うことができなくなっ

佐賀医科大学卒業。聖路加国際病院内科シフット。2002年フキ

前副院長。セントー感染症科部長。07年同部長。11年国立国際感染症セ

ンター病院国際感染症センター副センター長。12年国際感染症セ

ンター病院国際感染症センター副センター長。12年国際感染症セ

ンター病院国際感染症センター副センター長。12年国際感染症セ

ンター病院国際感染症センター副センター長。12年国際感染症セ

ンター病院国際感染症センター副センター長。12年国際感染症セ

ンター病院国際感染症センター副センター長。12年国際感染症セ

ンター病院国際感染症センター副センター長。12年国際感染症セ

ンター病院国際感染症センター副センター長。12年国際感染症セ

ンター病院国際感染症センター副センター長。12年国際感染症セ

ンター病院国際感染症センター副センター長。12年国際感染症セ

ンター病院国際感染症センター副センター長。12年国際感染症セ

ンター病院国際感染症センター副センター長。12年国際感染症セ

ンター病院国際感染症センター副センター長。12年国際感染症セ

ンター病院国際感染症センター副センター長。12年国際感染症セ

ンター病院国際感染症センター副センター長。12年国際感染症セ

ンター病院国際感染症センター副センター長。12年国際感染症セ

ンター病院国際感染症センター副センター長。12年国際感染症セ

ンター病院国際感染症センター副センター長。12年国際感染症セ

ンター病院国際感染症センター副センター長。12年国際感染症セ

ンター病院国際感染症センター副センター長。12年国際感染症セ

ンター病院国際感染症センター副センター長。12年国際感染症セ

ンター病院国際感染症センター副センター長。12年国際感染症セ

ンター病院国際感染症センター副センター長。12年国際感染症セ

ンター病院国際感染症センター副センター長。12年国際感染症セ

ンター病院国際感染症センター副センター長。12年国際感染症セ

ンター病院国際感染症センター副センター長。12年国際感染症セ

ンター病院国際感染症センター副センター長。12年国際感染症セ

ンター病院国際感染症センター副センター長。12年国際感染症セ

ンター病院国際感染症センター副センター長。12年国際感染症セ

ンター病院国際感染症センター副センター長。12年国際感染症セ

ンター病院国際感染症センター副センター長。12年国際感染症セ

ンター病院国際感染症センター副センター長。12年国際感染症セ

ンター病院国際感染症センター副センター長。12年国際感染症セ

ンター病院国際感染症センター副センター長。12年国際感染症セ

ンター病院国際感染症センター副センター長。12年国際感染症セ

ンター病院国際感染症センター副センター長。12年国際感染症セ

ンター病院国際感染症センター副センター長。12年国際感染症セ

ンター病院国際感染症センター副センター長。12年国際感染症セ

ンター病院国際感染症センター副センター長。12年国際感染症セ

ンター病院国際感染症センター副センター長。12年国際感染症セ

ンター病院国際感染症センター副センター長。12年国際感染症セ

ンター病院国際感染症センター副センター長。12年国際感染症セ

ンター病院国際感染症センター副センター長。12年国際感染症セ

ンター病院国際感染症センター副センター長。12年国際感染症セ

ンター病院国際感染症センター副センター長。12年国際感染症セ

ンター病院国際感染症センター副センター長。12年国際感染症セ

ンター病院国際感染症センター副センター長。12年国際感染症セ

ンター病院国際感染症センター副センター長。12年国際感染症セ

ンター病院国際感染症センター副センター長。12年国際感染症セ

ンター病院国際感染症センター副センター長。12年国際感染症セ

ンター病院国際感染症センター副センター長。12年国際感染症セ

ンター病院国際感染症センター副センター長。12年国際感染症セ

ンター病院国際感染症センター副センター長。12年国際感染症セ

ンター病院国際感染症センター副センター長。12年国際感染症セ

ンター病院国際感染症センター副センター長。12年国際感染症セ

ンター病院国際感染症センター副センター長。12年国際感染症セ

ンター病院国際感染症センター副センター長。12年国際感染症セ

ンター病院国際感染症センター副センター長。12年国際感染症セ

ンター病院国際感染症センター副センター長。12年国際感染症セ

ンター病院国際感染症センター副センター長。12年国際感染症セ

ンター病院国際感染症センター副センター長。12年国際感染症セ

ンター病院国際感染症センター副センター長。12年国際感染症セ

ンター病院国際感染症センター副センター長。12年国際感染症セ

ンター病院国際感染症センター副センター長。12年国際感染症セ

ンター病院国際感染症センター副センター長。12年国際感染症セ

ンター病院国際感染症センター副センター長。12年国際感染症セ

ンター病院国際感染症センター副センター長。12年国際感染症セ

ンター病院国際感染症センター副センター長。12年国際感染症セ

ンター病院国際感染症センター副センター長。12年国際感染症セ

ンター病院国際感染症センター副センター長。12年国際感染症セ

ンター病院国際感染症センター副センター長。12年国際感染症セ

ンター病院国際感染症センター副センター長。12年国際感染症セ

ンター病院国際感染症センター副センター長。12年国際感染症セ

ンター病院国際感染症センター副センター長。12年国際感染症セ

ンター病院国際感染症センター副センター長。12年国際感染症セ

ンター病院国際感染症センター副センター長。12年国際感染症セ

パネルディスカッション

●パネリスト
大曲 貴夫氏、鷺見 学氏、荒木 裕人氏、
山田 達也氏 株式会社GramEye 取締役、医師
村上 知子さん(森三中)
●コーディネーター
小熊 美香氏 リーディング・カウンセラー

一人ひとりが抗菌薬を 正しく使おう

村上 私は今回、この仕事をいた
だいて初めて薬剤耐性という言葉
を聞きました。そもそも風邪に抗菌
薬が効かないという話や抗菌薬が
効かなくなる大変なことになるな
い、知らないことばかりで先生方の
講演を聞いて、とても勉強になりま
した。8割以上あるのに、薬剤耐性は4割
以下でした。まだまだ認知度が低い
のが現状です。

小熊 国立国際感染症研究センタ
病院が9月に発表した「抗菌薬意識
調査レポート2023」によると、抗菌
薬・抗生物質という言葉の認知度が
講演を聞いて、とても勉強になりま
す。8割以上あるのに、薬剤耐性は4割
以下でした。まだまだ認知度が低い
のが現状です。



主催:読売新聞社 協賛:日本製薬工業協会
後援:内閣感染症危機管理統括庁、厚生労働省、AMRアラブ・シヤパン

口病、水疱瘡などウイルスが原因の

感染症には効果がないといこと

を、ぜひ知ってほしいと思います。ウ

イルスが原因の感染症は、たとえば

風邪なら、鼻水、せき、喉の痛みなど

複数の症状が同時にほしいと同じ

くらい強さで出てきます。一方、細

菌による感染症は、咽頭炎は喉の痛

み、膀胱炎は頻尿など症状が一か所

に出るとい特徴があります。これ

は簡単なので、覚えておくことでく

安心できると思います。

小熊 忙しくて通院の時間がとれ

ない、ちよと多めに薬をいた

けませんか、とお願したり、体調

が悪くなると服用を止めてし

ましたりということもありますね。

大曲 医師は最低限必要な期間で

薬を出すので、飲みすぎず途中でや

めると、治りきらず慢性化してしま

うことになりかねません。処方され

た薬は用量・用法を守って飲むとい

うことが大切です。大切ですよ。

村上 自分で勝手に判断せず、疑

問に思ったら、医師に質問する、そう

いうやりとりをしてほしいですね。



村上知子さん

1980年神奈川県横浜市生まれ。お笑い芸人。98年に黒沢
かずて、大島美幸とともにお笑いトリオ「森三中」を結成。
2008年に結婚、14年に出産。小学校4年生の女の母。

ルールにのっとった 処方

小熊 抗菌薬の使い方について、
立つ医療機器を開発されたそうで
す。どんなきっかけで活動を始めた
のですか？

山田 医師による抗菌薬の適切な
選択には、感染症の原因が細菌な
のか、そうでないのか、細菌なので
あればどのような種類かをいち早
く知ることが重要であると気がしま
す。R対策になるような診療の手引き、
感染症についての手引きというの
を出していますので、各医療現場で

山田 医師による抗菌薬の適切な
選択には、感染症の原因が細菌な
のか、そうでないのか、細菌なので
あればどのような種類かをいち早
く知ることが重要であると気がしま
す。R対策になるような診療の手引き、
感染症についての手引きというの
を出していますので、各医療現場で

医療現場における抗菌薬適正使用に
戦う武器となる抗菌薬がなくなっしま
す。具体的には「診療現場で医師が
抗菌薬を処方する際の、適正使用の手
引きの作成」「母子健康手帳にAMR対
応した記載を追加する」「抗菌薬
の添付文書にも適正使用を促す注意事
項に記載する」などの取り組みを行っ
て、一定額の収入を国が支援し、新しい
一方、新しい抗菌薬の開発が進んで
いないという問題があります。感染症と
業を開始したところです。

荒木 裕人氏 厚生労働省 健康・生活衛生局 感染症対策課 課長



京都大学医学部卒業。1999年厚生労働省(現、厚生労働
省)入省。厚生労働省健康局長補佐や、厚生
労働省健康局長補佐兼、厚生労働省健康
局長補佐兼、厚生労働省健康局長補佐、
文部科学省高等教育局企画官、内閣府健康
医療戦略推進事務局参事官など数々の要職を経て、
2023年7月より現職。

小熊 新しい切り口でのAMR対策
も進んできています。山田さんは医
師になって1年目にして、AIを使っ
て抗菌薬を適切に選択するのに役
立っているのか、細菌の種類がわか
るのか、AIを使った抗菌薬の適
切な選択に、感染症の原因が細菌
なのか、そうでないのか、細菌な
のであればどのような種類かをいち
早く知ることが重要であると気がま
す。R対策になるような診療の手引
き、感染症についての手引きとい
うのを出していますので、各医療
現場で薬を出す際に、医師に質問
する、というやりとりをしてほし
い。大切ですよ。

AIを使った 抗菌薬の選択も

小熊 さまざまな立場で新たな対
策が講じられているんですね。市民
の立場でも、いま自分にできること
に取り組んでいきたいと思いま



山田達也氏

大阪大学医学部卒業。医師。Inochi学生プロジェクト
フェクトリーダーを務め、薬剤耐性菌に取り組み、2018
年代表、タイ王国の抗菌薬の適正使用に取り組むフェ
クトリーダーを務め、薬剤耐性菌を取り組み、2018
年代表、タイ王国の抗菌薬の適正使用に取り組むフェ
クトリーダーを務め、薬剤耐性菌に取り組み、2018

